

ふれあい通信

より良いまちづくりのために

令和4年度がスタートしました。

3月2日から14日までの13日間の日程で行われた議会定例会では、執行部提案の23件の議案が審議され、全ての議案が可決成立いたしました。この議決をもって新年度の事務事業を執行していくこととなります。

本定例会は予算議会とも言われ、新年度の住民生活関連事業をはじめ町政各搬にわたる事務事業の予算を審議していただきました。一般会計の総額は、前年度比16.2%増の52億2,500万円と過去最大となりました。庁舎建設に伴う予算が増えたものですが、庁舎建設に当たっては、将来の人口減を見込んだ中で簡素で合理的な施設にすることを前提に、国の財政支援を受けて進めることにしています。防災拠点としての機能を有し、災害に強いまちづくりの一翼を担う施設とするものです。一般会計予算は8対3の賛成多数で可決され、予算が確定しました。

また、今回の議会では旧東小学校への貸付期間の5年が満了となる現企業に、引き続き貸付ける議案を提出しました。貸付を有償にするか、無償にするかは議論のあるところで

あり、これまで無償としてきたことの優位性については、ふれあい通信等で何度も説明してきたところですが、更新時からは原則として土地代は有償にすることにしました。建物については、賃料を有償にすることで大家として建物に責任を持たなければならず、修繕等で町の財政負担が大きくなる可能性もあることから無償にすべく議会に提案をいたしました。採決は8対3の賛成多数で可決され、無償で貸付けることになりました。

さて、廃校活用最後のとなりました旧豊栄小学校へは、このたびマーキュリーコミュニケーションシヨンカレッジという専門学校の設置が認可され、今、開校に向け準備をしています。「未来創造IT学科」「未来観光ビジネス学科」「文化文芸学科」の3学科で、この学校の売りは就職率100%だそうです。私は以前から学校は学校として残したいと思っていましたので、この学校の発展に大きな期待を寄せているところです。

膝を交えた意見交換

協働のまちづくりを推進するには、町民の皆さまと行政が様々な情報を共有するこ



長南町長
平野 貞夫

SADA
No.41

とが何よりも大事であります。町では、町民の皆さまに施策や事務事業の理解度を深めていただくため、「出前講座」を実施しています。現在53講座を用意していますので、お気軽にお申し出いただきたいと思います。私をはじめ職員がご指定の場所に出向き、皆さまと膝を交えて意見交換ができればと思っています。

行政運営において、町民の皆さまへの執行部の真意が伝わらず、誤解を招いていることが多々あり、苦慮しております。職員には情報発信の仕方や内容の工夫を検討するよう指示していますが、こうした出前講座を利用していただければありがたいと思っています。

また、広報6月号から順次各課の業務内容の現状と課題、取り組みについて特集記事掲載することにしておりますので、参考にしていただきたいと思います。

皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。